



## ジュリー ポリシー

2022年8月23日

1. 事故の無い安全なレースが展開されることを本大会の第一目標とします。
2. 併せて 参加艇、選手の満足する大会になることを心掛けます。
3. プロテスト委員会は、基本的に艇に対しては抗議を行いません。  
但し、RRS 2（公正な帆走）、RRS 69（重大な不正行為）に抵触する可能性の有る場合には、プロテスト委員会は抗議することも考えます。
4. 審問に先立ち、RRS 63.2 に基づき、当事者には審問の準備の為に十分な時間を取ります。それ故に、抗議は出来るだけ早く申告してください。
5. 抗議、救済要求の有効性の判定にあたっては、RRS, SI も含め、定められた手続きを厳格に適用します。
6. 裁量ペナルティ【DP】に付いては World Sailing の指標に基づいて対応します。
7. 審問の再開については、3 での十分な準備を踏まえ、「新しい証拠」については、合理的な理由が無い限り相当限定的となります。
8. レース運営等でルール上の問題点等がある場合は、その問題をなるべく早く回避、解決できるように、レース委員会等と緊密に連絡を取ることを心掛けます。

逗子レガッタ 2022

プロテスト委員長 栗原 伸太郎